



彫刻のある風景 vol.10 「詩人-詩想の時」 制作 綿引道郎
(ふれあいの森公園)

東海村文化協会だより

発行日
令和元年7月1日
編集発行
東海村文化協会
事務局
東海村船場768-15



「令和」の時代を迎えて

東海村文化協会

会長 町野 博

「令和」という新元号の幕が開き、新たな時代に対する期待感とともに、「平成」という時代を振り返る方も多いのではないでしょくか。

当協会においての平成は、昭和の時代から始めた事業が円熟味を増したものとなつたことや、次世代を担う子どもたちに対し芸術文化に触れる機会を提供する新たな事業に取り組むなど、まさに温故知新的の時代になつたと実感しております。

また、当協会の主力事業である「東海村芸術祭」が30年という節目を迎え、「東海村芸術祭30周年記念事業」を開催しましたが、平成最後の年度に盛大に実施できたことに感慨深さを感じております。

さて、令和元年度は、本県において45年ぶりとなる第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。本村においても「ホッケー競技」の会場として、村を挙げてこの大会を盛り上げようとさまざまな事業が計画されており、併せて国体の総合開会式等が笠松運動公園で開催されるため、期間中に全国から多数の大会関係者の来村が見込まれ、東海駅の利用者も増加するとの考えられることから、当協会においても文化・スポーツ振興財団と連携し、東海ステーションギヤラリーを会場に「おもてなし」を目的とした事業を実施する予定です。令和2年(2020年)には世界的なスポーツの祭典である「東京オリンピック」も

開催され、スポーツ色の強い年が続きますが、日本には能・狂言等の伝統芸能のほか、日本発祥として世界中に広まっているアニメや漫画、さらに地域に根差した民俗芸能の文化などもあり、こういった文化を国内外に発信し、オリンピックの機運を盛り上げようと、国ではさまざまな「文化プログラム」が企画されております。

当協会としても、地域に根差した文化活動を広げるべく、この機運を生かし、新たな事業展開を検討してまいりたいと考えております。

さて、改元の話に戻りますが、「令和」とは、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味も持つそうです。解釈はさまざまあると思いますが、当協会では同じ趣味を持つ者が一人より二人、二人より三人と気の合う仲間を作り、互いに切磋琢磨しながら活動することにより、豊かな心を育むとともに、生涯に渡り継続することの出来る「芸術文化活動」が定着し、より一層活動意欲が湧くことで自己実現を目指せる、「令和」はそのような時代にしていきたいと思つております。

ぜひ、新時代となつた「令和」を契機に、生涯続けることのできる「芸術文化活動」を見つけてみませんか!

Anniversary 30周年記念

展示部門

○会期：5月13日(日)～6月9日(土)
○会場：東海ステーションギャラリー

昭和63年から旧東海村中央公民館と東海文化センターにおいて作品展示を行う「展示部門」がスタートし、東海村芸術祭は今回で30周年を迎えました。

各出展団体は30周年を意識し、工夫を凝らした作品展示を企画するなど、会場に足を運んでくださる皆さまに楽しんでいただけるよう準備を進めてまいりました。おかげさまで3,000人を超える皆さまにご来場いただくことができましたこと、出展者一同、感謝申し上げます

【入場者数3,095名】



華道



技芸



写真



書道



水墨画



茶会



美術

参加団体

- ・美術連盟・書道連盟・写真連盟
- ・華道連盟・技芸連盟・茶道連盟
- ・水墨画連盟

30周年記念式典会場での特別展示の様子



30th

東海村藝術祭

芸能部門

○会期：6月10日(日)
○会場：東海文化センター

東海村長や東海村議会議長をお迎えしての記念式典のほか、30周年記念特別アトラクションとして、お祝いの席で楽しい芸を披露する伝統芸能「水戸大神楽」の皆さんにもご出演いただきました。各出演団体も30周年記念を盛り上げるべく、趣向を凝らした発表を行い、その中でも団体の枠を超えて“ジャズダンス”“モダンダンス”“フラダンス”的3団体がコラボレーションした発表は大盛況となりました。
【入場者数のべ6,020名】



式典



水戸大神楽



水戸大神楽



津軽三味線



日本舞踊



吟詠剣詩舞



東海太鼓保存会



民謡



よさこいソーラン



童謡を唄う会 ゆりかご



カラオケ



モダンダンス&チアダンス&フラダンスコラボレーション

参加団体

- ・ジャズダンス連盟・カラオケ連盟
- ・芸能連盟（津軽三味線、吟詠剣詩舞、民謡）
- ・よさこいソーラン連盟・モダンダンス連盟
- ・フラダンス連盟・音楽連盟（合唱）
- ・舞踊連盟・東海太鼓保存会

文化に親しむ機会づくりを!

“子どもたち”!!

子ども芸術祭

東海文化センター》

第7回の子ども芸術祭
には、総勢約350名の
子どもが参加!!

【作品展示＆芸術文化体験】

今回の作品展示は、村内小学校各クラスから1点ずつ選出いただいた絵画優秀作品に加え、夏休み作品教室書道の部において選出された優秀作品のほか、初開催となった夏休み子ども陶芸教室で制作された陶芸作品の展示を行いました。作品総数130点の展示は見ごたえのあるものとなりました。

また、芸術文化体験のコーナーとして、“お茶会へ行こう（茶道体験）” “指編みでマフラー作り（編み物体験）” “記号を使って好きなものを描いて見よう（絵画体験）”を開催しました。気軽に参加できる体験会にはたくさんの子どもたちが楽しそうに参加していました！



展示コーナー



絵画制作体験(記号を使った作品作り)



茶道体験



指編み(編み物)体験



書道作品展示



絵画作品展示



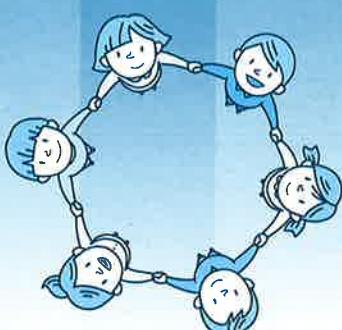
陶芸作品展示



陶芸制作体験



展示コーナー



次世代を担う子どもたちに

主役は

第7回 東海村 《12月9日(日)》

【ステージ発表＆ダンス体験】

日本舞踊や和太鼓などの伝統芸能に加え、モダンダンスやチアダンスなどのステージ発表に参加した子どもたちは、華やかなステージで伸び伸びと演技を披露していました。

また、今回はステージ発表の最後に行った子どもカラオケにおいて、“ダサかっこいい”と話題となったDA PUMPの「U・S・A」の曲が流れると、子ども芸術祭に参加した子どもたちは一斉にステージに上がり、「みんなで一緒にダンスを踊って盛り上がりました！」



東海太鼓保存会



チアダンス



よさこいソーラン



東海村少年少女合唱団



モダンダンス



日本舞踊



津軽三味線



フラダンス



子どもカラオケ



U・S・Aでみんなノリノリ♪

ダンス1日体験（12/2開催）



東海村における文化の一大イベント「東海村文化祭」が10月28日(土)、11月2日(金)～4日(日)、総合体育館・文化センターを中心開催されました。

東海村文化協会では、所属会員の出品・発表を行うとともに、実行委員会の役員・委員として、企画・準備・運営と文化祭開催における全般に携わっています。



モダンダンス

**気軽に参加できる
“芸術文化体験コーナー”を設置しました!**

写真でつづる 東海村文化祭2018



外国人による日本語スピーチショー



技芸展(革工芸)



室内合唱団



菊花展



謡曲と仕舞



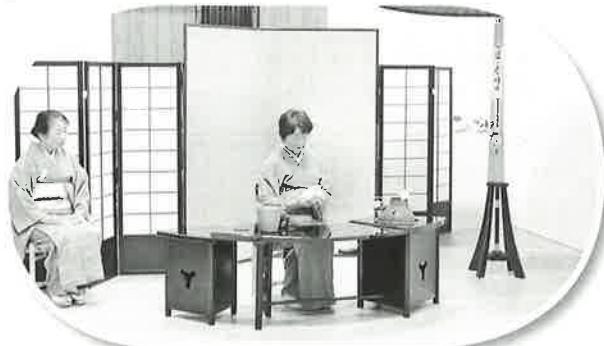
大正琴



リトルカンパネラ



ジュニア将棋大会



茶会(表千家知足会曾根社中)

《芸術文化体験コーナーの様子》

気軽に芸術文化を体験できるコーナーを、参加団体の協力により設置しました。見る・聴くだけではなく「やってみる」ことにより、芸術文化に興味を持つきっかけづくりとなれば嬉しい限りです。



体験広場(折染め&ダストボックス作り)



書道体験(ハガキに好きなことばを書いてみよう)



絵画体験(世界で1枚だけのクリスマスカードを作ろう)



水墨画体験

北海道胆振東部地震への義援金

平成30年9月に発生した激甚災害「北海道胆振東部地震」に対する義援金として、文化祭会期中に設置した募金箱及び出展団体のバザー売上げなど、12月12日に町野実行委員長と事務局で茨城新聞文化福祉事業団を訪問し、寄付させていただきました。

皆さまのご協力ありがとうございました。

【寄付額 87,456円】

東海村文化祭2019

- ・令和元年10月25日(金)小中学校音楽祭
- ・令和元年11月2日(土)～11月4日(月・祝)
展示・芸能・催事発表

東海村文化祭2018参加団体

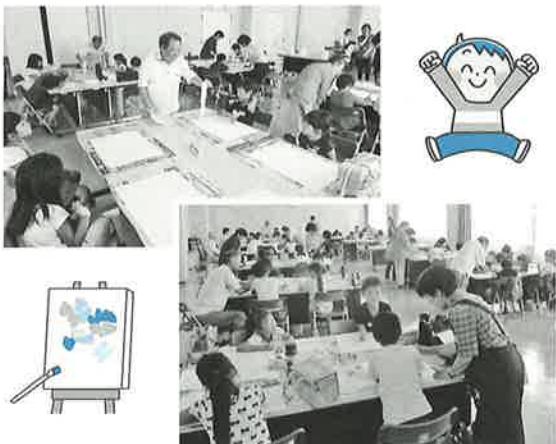
- 東海美術連盟
- 東海村書道連盟
- 東海村写真連盟
- 東海村技芸連盟
- 東海村盆栽連盟
- 東海村華道連盟
- 東海村菊花連盟
- 東海村山草連盟
- 水墨画連盟
- 東海村アマチュア無線連盟
- 東海村茶道連盟
- 東海村高齢者クラブ連合会
- (一社)茨城県建築士会
ひたちなか支部東海地区
- 東海村の文化財と自然を守る会
- 東海村立各小中学校
- スカシユリいけばな子ども教室
- いけばな子ども教室
- NPO法人まつはっこり
- 瑞芸の楽しむ会
- 金曜クラブ
- 東海村芸能連盟
- 東海村カラオケ連盟
- 東海村舞踊連盟
- 東海村ジャズダンス連盟
- 東海村フラダンス連盟
- 東海村モダンダンス連盟
- 東海村音楽連盟
- ハーモニカを楽しむ会
- リトルカンパニラ
- 翠榮会
- FAM(ファム)
- TOKAIハレエクラブ
- 東海太鼓保存会
- フォーランチダンスポラリス
- りすむ☆新体操くらぶ
- 東海村能楽会
- 東海村囲碁連盟
- 東海村将棋連盟
- よさこいソーラン連盟
- 東海村弓道連盟
- SCスマイルTOKAI
- たんぽぽの会
- 民話再生の会
- TJS東海村日本語支援グループ
- 東海二八斎叟の会
- 東海村商工会
- 出荷農家有志
東海村農業支援センター
- 東海村シルバー人材センター
- 東海村教育委員会生涯学習課
- 東海村教育委員会国体・スポーツ
推進課

(順不同)

エンジョイ
サマースクール
対象

夏休み子ども作品教室は今年も大盛況!

〈絵画の部 80名、書道の部 60名〉

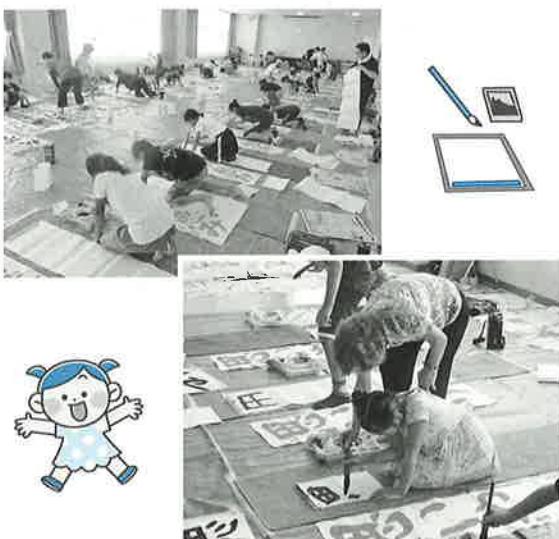


約2時間という限られた時間の中で、下書きから色塗りをして完成までさせるのはかなり難しいことです。この教室に参加する子どもたちはほとんどは作品が完成します。書き方を迷っている子、何色の絵の具を使うか迷っている子など、その都度、時間内に極力作品が完成するように講師は子どもたちが納得する最良のアドバイスを心掛けています。帰りに子どもたちが、お迎えに来た保護者に「完成したよ」と笑顔で報告する様子を見るたびに、講師を務めた甲斐があつたと嬉しく感じます。

開催日 7月28日(土)
会場 東海文化センター会議室

夏休みの絵画課題に取り組む

【絵画の部】(協力:美術連盟)



コンクールには「条幅」と「半紙」の部門がありますが、本教室では、縦135センチ×横35センチという大きな用紙サイズである「条幅」の指導を行っています。普段の学校書道では使用しない「特大筆」を使用するのですが、小学校1・2年生は学校でも毛筆を習っていないため、筆の持ち方の前に、「墨は服に着いたら絶対に落ちないこと」「筆を振り回してはいけないこと」から指導します。その後、筆を持たせるのですが、最初は見たこともない「特大筆」を手に恐る恐る書き始めるものの、すぐに臆することなく伸び伸びと用紙いっぱいに書き始めた子どもたちに毎回驚かされます。

開催日 7月29日(日)
会場 東海文化センター会議室

JJA共済 小・中学校 書道コンクールの課題に挑戦

【書道の部】(協力:書道連盟)

エンジョイ
サマースクール
対象

子ども芸術祭陶芸体験教室 〈陶芸の部 20名〉

今回、初めて実施しましたが、申込開始30分で定員に!



今年度初めて開催した「陶芸制作体験」は、申込受付開始後30分で定員の20名に達するほどの人気ぶりでした。講師の先生から、用具の使い方などを教わった後は、子どもたちはこの世に一つしかないオリジナルの小皿を作ろうと一生懸命粘土を捏ねていました。粘土が残った子どもたちは、「家族や友だちの箸置き」なども制作し、焼き上がりを楽しみに教室を終了しました。

なお、焼き上がりが完成した作品は、12月9日に開催された「第7回東海村子ども芸術祭」に展示されました。

開催日 8月10日(金)
会場 東海文化センター会議室

オリジナルの小皿を作ろう!

【陶芸の部】(協力:技芸連盟みどり陶芸クラブ)

理事研修会

江戸東京博物館視察と

NHK福祉大相撲見学

平成30年度の東海村文化協会の理事研修会は東京都江戸東京博物館と両国国技館への視察研修でした。

前日の天気予報では東京方面は大雪注意報が出されていましたので、事務局の方々は随分頭を悩まされた事と思います。今にも降り出しそうな曇天の中、予定通り7時半東海文化センターを出発しました。常磐道を南下するにつれ車窓に白いものがチラチラ、休憩した守谷サービスエリアはうつすらと雪化粧しており、帰りの道路を心配しながらの東京行きでした。雪の予報のせいか渋滞もなく、両国にある江戸東京博物館に9時半に着きました。凍えそうな強風でしたが建物の中は江戸時代にタイムスリップです。徳川家康が江戸に幕府を開いてから現代まで400年間の歴史・生活・文化を体験したり実物資料を見学したりしました。立派な武家屋敷と庶民の長屋暮らしが、寺子屋での学問、庶民の楽しみなど一つ一つ見ていたらあつという間に時間が過ぎてしまいました。

午後は両国国技館にてNHK福祉大相撲を見学しました。リズミカルなふれ太鼓、笑いを誘う初っ切り、相撲甚句はクスッと

可笑しかつたり胸にじんときたり、いつもはテレビで見る横綱を直接応援したり、盛りだくさんの内容でした。

帰りの車中では各理事による活動

報告があり、ほとんどの会が会員の高齢化と減少が悩みということで

した。

心配した雪もうつすらと積もる程

度ですみ、予定より早く帰ることが出来ました。長い歴史の重みを感じ次世代に上手く繋いでいかなければならぬと思つ一日でした。

この研修会を計画遂行して頂いた事務局の皆様に感謝申し上げます。

茶道連盟 坂本 早苗



受賞者紹介

佐藤 富夫さん(美術連盟)

第23回茨城県健康福祉祭
いばらきねんりん文化祭

わくわく美術展(洋画の部)

茨城県知事賞

豊島 和久さん(美術連盟)

第23回茨城県健康福祉祭
いばらきねんりん文化祭

わくわく美術展(洋画の部)

茨城県老人クラブ連合会長賞

高野千夏子さん(美術連盟)

新構造社 第90回新構造展
会員賞

鈴木しのぶさん(美術連盟)

茨城県芸術祭美術展覧会
美術部門(彫刻) 優賞

今井マサ子さん(書道連盟)

第23回茨城県健康福祉祭
いばらきねんりん文化祭

わくわく美術展(書道の部)

茨城県社会福祉協議会会長賞

能登 一珠さん(モダンダンス連盟)

全国つくば洋舞コンクール
モダンソロ・ジャニア1
ローズ賞

諸藤 弘美さん
海野 結菜さん(モダンダンス連盟)

全国つくば洋舞コンクール
アンサンブル部門
ローズ賞

掲載は、公的機関からの表彰

及び県・全国大会での受賞者です。
この他の多くの会員が展示会や大会等で入賞しています。

協力事業 アートロードが 県知事表彰を受ける

文化協会所属会員の有志を主体とする「アートロード実行委員会」が、長年に渡る芸術文化活動を認められ「平成30年度茨城県文化芸術功労者表彰」を受けました。

事業特別紹介

「第35回記念 新春和歌の会」が、文化協会 佐竹千尋参与宅(芸能連盟所属晴嵐会)にて開催されました。

この和歌の会は、佐竹参与が会長を務める霞朗詠会晴嵐会の発展と共に会員自ら研鑽に励みそれが成長できることを願い、全会員が興味を持ち勉強できるような一大行事として、お正月に始めたものです。

霞朗詠会

総本部 鬼

沢霞会長をはじめ、多

数の関係者が集い、団

結心と会員

同士の親睦を深めまし

た。



文化協会指導者派遣事業

「平成30年度に実施した指導者派遣事業」

アイダホフォールズ市学生訪問団書道体験

【協力：書道連盟】

- ・開催日：7月27日(金)
- ・会場：東海村役場101・102会議室
- ・参加者数：18名



学童クラブ絵画教室

【協力：美術連盟】

- ・開催日：8月4日(土)
- ・会場：中丸学童クラブ
- ・参加者数：22名



夏休み囲碁体験教室

【協力：囲碁連盟】

- ・開催日：8月6日(月)、8月7日(火)
- ・会場：児童センター支援室・相談室
- ・参加者数：28名



いきいき茨城ゆめ国体

ホッケー競技プレ大会 記録写真撮影

【協力：写真連盟】

- ・開催日：9月22日(土)～26日(水)
- ・会場：阿漕ヶ浦公園、東海高校
- ・参加者数：12名



『日本伝統文化「いけ花」 －秋花を活ける、正月を活ける－

（公民館講座）【協力：華道連盟】

- ・開催日：9月12日(水)、10月24日(水)、11月28日(水)、12月26日(水)
- ・会場：中央公民館
- ・参加者数：17名



『おとな時間美文字倶楽部』 －筆ペンに親しむ－

（公民館講座）【協力：書道連盟】

- ・開催日：10月13日(土)、11月10日(土)、12月1日(土)
- ・会場：中央公民館
- ・参加者数：15名



各連盟の会員を随時募集中です！

「絵を始めてみたい」「ダンスを習ってみたい」など、文化活動に興味のある方はぜひ東海村文化協会事務局までご連絡ください。各団体とのお取次ぎを致しますので、お気軽にお問合せください。

＜東海村文化協会事務局＞ TEL : 029-287-2512

ホームページのご案内
<http://www.bunka-tokai.org>

Instagram(インスタグラム)始めました!
<https://www.instagram.com/tokaibunkakyokai/>

編集委員

堀川 千葉 勇夫(美術連盟)
佐藤 大樹(書道連盟)
河野 亜希子(事務局)
益子 文彦(事務局)

皆様に当協会の活動をご紹介する「東海村文化協会だより」の配布を始めて今回で7回目となります。例年、本誌は4月末頃に発行されますが、今回は少し遅れていますが、届けすることとなりました。そこで、編集委員のメンバードで自身の濃い議論を行ない、納得のいく仕事がりになります。ぜひ多くの方々に届けてお届けすることとなりました。それが嬉しい思いです。さて、平成30年度は、数年前から準備を行ってきた「東海村芸術祭30周年記念事業」をはじめ、文化祭、子ども芸術祭、指導者派遣事業など、計画した全ての事業を行なうことができました。各事業の詳細については、本誌に写真付きで紹介していく。また、会員同士の相互交流・相互鑑賞も活発となり、協会全体として、芸術文化に対する意識の高まりを感じた。会員同士の相互交流・事業を行なうことができました。事業を行うことで、協会が幕を閉じ、新時代を迎えた。「令和」とともに新たなスタートを切り、地域の芸術文化振興のため、まい進していきたいと思います。

編集後記